

令和7年度 一般選抜（二期） 入学試験問題

【 国語（現代の国語） 】

※科目【英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ）】、【国語（現代の国語）】、【数学Ⅰ、数学A（場合の数と確率のみ）】、【情報Ⅰ】、【簿記・会計】の5科目の中から出願時に届け出た2科目を、解答してください（受験票に科目名を記載しています）。

※試験時間は、2科目で100分です。

※この問題冊子は【国語（現代の国語）】です。

I. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (2) 出題科目、及びページは下表のとおりです。

出題科目	ページ
国語（現代の国語）	1 ~ 11

- (3) 問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 問題の解答は、すべて別に配布する解答用紙に記入してください。
- (5) 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入してください。
 - ① 受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - ② 氏名欄
氏名・フリガナを記入してください。

II. 解答上の注意

<国語（現代の国語）>について

- (1) 解答欄への選択肢の記号（ア・イ・ウ・エ・オ…）の記入、および 文字の記入は、読み間違えのないように ていねいに書いてください。

九州情報大学

国 語

第一問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

居場所がない、^①身の置きどころがない、ひとりはじき出されている感じがする、まるでじぶんの存在が消え入る点になったみたいに……。そんな心細い思いが、人をしばしば蝕む。ずっと長くそんな不安な思いに沈み込んだままの人もいる。

存在のこうした萎縮は、^②人が「つくる」といういとなみから外れたところで起こるのではないかと、このところ思いはじめている。

人は生きるために、みなとともに生きのびるために、土を て米や豆や野菜を作り、それに使う道具を作り、身につける衣装を作り、物を運ぶ車や船を作り、雨風と夜露をしのぐ家を造ってきた。農作と工作、製作と造作。作ることは、生きることの基盤をなすいとなみの一つである。

だから幼稚園でも小学校でも、子どもにはまず「つくる」ことを教えてきた。料理を作ったり、土を て何かの形にしたり、木を削って棒を作ったり、紙で箱を作ったり。くりかえすが、作ることは生きることの基本である。

ここで忘れてならないのは、そういう製作が単独の仕事ではなく、^③他人の仕事とのネットワークのなかでなされてきたということである。たとえば包丁一つ作るのでも、鍛冶職人、刃付け職人、柄作り職人、そして最後に銘を切り、柄をつけ、包丁に仕上げる産地問屋というふうに、異なる人びとの繋がりがなくてはどうにもならない。

それにくわえて、いずれの職人も作るにあたって材料となる木や鉄がどのような性質をもっているかを知りつくしていないといけない。刃の当たるまな板の性質も、刃を研ぐ砥石の性質も熟知していなければならない。さらにそれで野菜を切るのか肉を切るのか、肉でもどの部分を削ぐのかという用途もまたよく頭に入れておく必要がある。

こうした人の繋がり、^④物との対話、用途の連なり、それらがあればこそ、わたしたちは、身を寄せられるもの、あるいは抛りどころとできるものの《たしかさ》に安らうことがで

きる。⑥じぶんが生きる場の広がりを実感するようになるのだ。

ところが、「文明」の進化とともに、人は「つくる」ことの手間を省いて、「つくられた」ものを ほうに、関心を移していった。家や車はもちろん、日用の道具も料理も、作るのではなく ようになった。製造と流通のシステムに「つくる」ことのほとんどを託すことで、人はホモ・ファアベル（作る人）から⑥「消費者」へと座を移していった。

便利に、快適になった。が、そうしたシステムに漫然とぶら下がっているうち、「つくる」という、生きる基本となる能力を損なってしまった。気がつけば、調理すること、工作することは⑥おろか、排泄物を処理することも、赤子を取り上げることも、遺体の清拭や埋葬も、みずからの手ではできなくなった、いのちを繋ぐために世代から世代へと伝えられてきた技をも損なってしまった。⑥そんな技の根絶やし状態をとことん思い知らされたのは、大震災でシステムが停止もしくは破綻したとき、つい6年前のことである。

一方で、「つくる」ことは「ものづくり」へと純化され、「創る」こととして神棚に上げられていった。匠の技として、道具が工芸品や美術品にまつりあげられる。用いられるはずものが鑑賞されるものになった。道具は、用いられるものとして、人びとの繋がり、物たちの連なりに根を生やしていたはずなのに。こうして⑥「つくる」ことがわたしたちから遠ざかっていった。

このことは「つかう」ことの痩せ細りをも招いた。道具は人がじっくり使いこなすものではなく、「つかう」はお金を使うことに縮こまっていった。

「つかう」というのは何かを手段として利用することではない。人は物だけでなく他の人も使うが、それは簞奪や搾取ばかりではない。⑥おんぶしてもらったり、もたれさせてもらったりもする。

「つかう」とは「つきあい」からくるもの、つまり「付く」と「合う」の縮約形である。そして、道具を使うとは、道具の構造を受け容れることでそれにじわじわ馴染みつつ、みずからの可能性を外へと拡げてゆくことであり、そのかぎり「仕う」ことでもある。

さらに「つかう」には「遣う」の意味もある。人を遣わすとは、だれかをおのれの名代として送ること。この者の言葉はわたしの言葉と申していただけでよいと。そういう信頼が「遣う」の核にある。そういう「つかう」の多層的な意味もまた「つくる」の萎縮とともに失われていったのではないだろうか。冒頭にあげた^④個々人の存在の縮こまりも、おそらくこのことと無関係でない。

(鷗田清一『濃霧の中の方向感覚』晶文社による)

※問題作成のため本文を一部変更・省略したところがあります。

問一 傍線部①「身の置きどころがない」とあるが、「身の置きどころ」とはどのような場所か。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 逃げて隠れられる場所
- イ 心や体が落ち着いていられる場所
- ウ 存在の基本を見つけられる場所
- エ 周りがよく見渡せる場所

問二 傍線部②「人が『つくる』といういとなみから外れた」とはどういうことか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人がつくるという仕事を投げ出してしまう
- イ 人がつくることの利点に関心がなくなる
- ウ 人がつくることの影響を忘れてしまう
- エ 人がつくるという行動をしなくなる

問三 空欄 ・ にあてはまる動詞を「して」の形に合わせてひらがなで書きなさい。

問四 傍線部③「他人の仕事とのネットワークのなかでなされてきた」とあるが、たとえば一冊の本ができあがるまでにどのような内容の仕事があるか。「文章を書く仕事」以外に二つ書きなさい。

問五 傍線部④「物との対話」とはどのようなことか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 物を作る人が、ネットワークを通して材料の生産地をよく知ること
- イ 物を作る人が、物のよさをひき出そうとみなでよく話し合うこと
- ウ 物を作る人が、材料などに直接触れてその性質をたしかめること
- エ 物を作る人が、完成品の用途をきちんと使う人に伝えること

問六 傍線部⑤「じぶんが生きる場の広がりを実感するようになる」とあるが、本文の流れに合わないものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 何か一つのものを作るにも、さまざまな職種の人が関わっている
- イ 物を作るときには、できるだけたくさんの店から材料を集める
- ウ 作る人が、自分の作ったものがどのように使われているのかまで考えている
- エ 職人が長い時間をかけてものの作り方を身につけてきた
- オ せつかく物を作ったのなら、多くの人に知らせるようにする

問七 二か所ある空欄 に共通して入る適切な語を書きなさい。

問八 傍線部⑥「『消費者』へと座を移していった」とはどのようなことか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 消費に気を取られて作ることを考えず、自然の恵みに目を向けない暮らしをするようになった。
- イ 自分の欲望のままに消費するので、作っている他者への配慮に欠けた暮らしをするようになった。
- ウ 作ることを専門家に任せて消費に専念し、自分の役割のみを考えて生活するようになった。
- エ 自分では作れないものも手に入れて消費できる、便利で安楽な暮らしをするようになった。
- オ いつでも消費する一方であるので、作ることの意味を失ったまま生活するようになった。

問九 傍線部⑦「おろか」とあるが、ここでの意味として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア いいかげんにして
- イ いうまでもなくて
- ウ ばかばかしくて
- エ とるにたらなくて

問十 傍線部⑧「そんな技の根絶やし状態」とはどんな状態のことか。百字以上百二十字以内で説明しなさい。

問十一 傍線部⑨「『つくる』ことがわたしたちから遠ざかっていった」とあるが、どういうことか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 特別な技術を持つ人だけがものを作るようになったこと
- イ 使うのではなく鑑賞するものばかり作られるようになったこと
- ウ 職人たちが生産地から離れてあちこちで作るようになったこと
- エ 簡単に製品が手に入ることで作れるものも作らなくなったこと

問十二 傍線部⑩「おんぶしてもらったり、もたれさせてもらったりもする」とあるが、他の人に対してどのような関係であると考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア どんな時も相手に甘えてしまう関係
- イ 強いものが弱いものを助ける関係
- ウ 何かを与える代わりに何かをもらう関係
- エ 安心して相手を頼っている関係

問十三 傍線部⑩「個々人の存在の縮こまり」と最も近い内容を持つものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分以外の人や物と支え合ってお互いの存在を高めていくことができない状態。

イ 自分以外の人や物とふれあいながら自分が存在する世界を広げることができない状態。

ウ 自分以外の人や物と関わりながら自分の存在の意味を確かめることができない状態。

エ 自分以外の人や物と信じ合ってお互いの存在価値を見つけることができない状態。

第二問 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① むやみに森林を伐採してはいけない。
- ② 日々の鍛錬が必要です。
- ③ 任務に精励する。
- ④ 乳児の窒息事故に注意する。
- ⑤ 石碑に文字が刻まれている。
- ⑥ 経済が衰退している。
- ⑦ 奈良時代の古墳が見つかった。
- ⑧ 零細企業をいとなむ。
- ⑨ 混ぜた塗料を壁に塗った。
- ⑩ 条約の取り止めを請願する。
- ⑪ 海外のチームへ移籍した。
- ⑫ 大切な希少生物が滅んでしまった。
- ⑬ 顧問の弁護士に相談する。
- ⑭ 細胞はとても小さい。
- ⑮ ニュースによると邦人男性が行方不明です。

第三問 次のカタカナ部分を漢字一字と送りがな（ひらがな）に直しなさい。

- ① 万全の準備をして大会にノソソダ。
- ② 私の部屋はとてもチラカッテいる。
- ③ 人気に実力もトモナッテいる。
- ④ 衣服の破れをツクロウ。
- ⑤ 最後にふたをして少しムラシテください。
- ⑥ オゴソカな空気の中、式は始まった。
- ⑦ 胸の奥にヒソム情熱を語る。
- ⑧ 腹をカカエテ笑い転げた。
- ⑨ なんともイサマシイ戦士たちだろうか。
- ⑩ 優勝したので祝賀会をモヨオス。

第四問 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 禁止事項にカイトウする。
- ② 業務を外部にイタクする。
- ③ 電線を地下にマイセツする。
- ④ 新入生歓迎会をセイタイに行う。
- ⑤ 道路改修工事をウケ負う。
- ⑥ お酒はイツテキも飲めない。
- ⑦ いさぎよくカシツを認める。
- ⑧ それについて意見はサンピ両論です。
- ⑨ 水はギョウコして氷になった。
- ⑩ そのときグウゼンに出会った。
- ⑪ 車のエンジンがコシヨウした。
- ⑫ 道端にノギクが咲いている。
- ⑬ ヒタイに汗して働いた。
- ⑭ ハカヨメの衣装を選ぶ。
- ⑮ 早急にゼンシヨいたします。

国語

解答用紙 (表面 第一問)

受験番号	
フリガナ 氏名	

問十一	問十						問五	問四		問一
問十二						問六			問二	
問十三						問七			問三	
									A	
						問八			て	
									B	
						問九			て	

第一問
文章問題

国語 解答用紙 (裏面 第二問～第四問)

解答欄への文字の記入は、読みやすい字でていねいに書いてください。
 また、漢字は、楷書で書いてください。
 読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第二問 漢字の読み

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第三問 漢字一字と送りがな

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第四問 漢字の書き取り

国語

解答用紙 (表面 第一問)

受験番号	
フリガナ氏名	

第一問 文章問題

問十一
イ

3

問十二
エ

3

問十三
ウ

3

問十					
く	シ	て	の	と	自
し	ス	き	ち	い	ら
て	テ	た	を	う	の
し	ム	技	繋	、	手
ま	を	を	ぐ	生	で
っ	使	、	た	き	生
た	い	文	め	る	き
状	つ	明	に	た	る
態	づ	の	世	め	た
。	け	進	代	の	め
	て	化	か	基	に
	い	に	ら	本	必
	る	よ	世	と	要
	う	っ	代	な	な
	ち	て	へ	る	も
	に	手	と	能	の
	、	に	伝	力	を
	一	入	え	や	つ
	切	れ	ら	、	く
	な	た	れ	い	る

15

問五
ウ

3

問六
イ
オ

$3 \times 2 = 6$

問七
買
う

3

問八
エ

3

問九
イ

3

問四

書かれた文章を校正する仕事
完成した文章を印刷する仕事

$3 \times 2 = 6$

問一
イ

3

問二
エ

3

問三
A

たがやして

B

こねて

$3 \times 2 = 6$

国語

解答用紙 (裏面 第二問～第四問)

第二問 漢字の読み

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
ほうじん	さいぼう	こもん	ほろ	いせき	せいがん	とりよう	れいさい	こぶん	すいたい	せきひ	ちつそく	せいれい	たんれん	ばっさい

第三問 漢字一字と送りがない

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
催す	勇ましい	抱えて	潜む	敵か	蒸らして	繕う	伴って	散らかって	臨んだ

第四問 漢字の書き取り

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
善処	花嫁	額	野菊	故障	偶然	凝固	賛否	過失	一滴	請	盛大	埋設	委託	該当

解答欄への文字の記入は、読みやすい字で、いねいに書いてください。
また、漢字は、楷書で書いてください。
読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。